

「ええじゃんプロジェクト！5年生の思いを未来につなぐ！！ ～わが町尾道わが祭り～」

本単元で育成する資質・能力

郷土愛，主体性・協働性，課題発見・解決力

1 単元について

(1) 単元観

本単元は、探究課題「地域の祭りとその活性化や発展に力を注ぐ人々の思いや願い」を踏まえて構想した単元である。地域の伝統的な祭り「みなと祭り」のよさやその背景を探り、祭りで披露するええじゃん SANSА・がり（踊り）を地域の方たちと協働しながら創作する活動を通して、答えのない問いに対して納得解を自分たちで見出し、これからの地域との関わり方について考えていくことが、自己の生き方へつながると考え、本単元を設定した。

(2) 児童観

資質・能力獲得状況に関する質問紙の結果、以下のような傾向が見られた。（11月実施 25名）

質問	肯定的回答	課題
自分の目標や課題に向けて、友だちとかかわりながら課題の解決に取り組もうとしている。 【主体性・協働性】	68%	<ul style="list-style-type: none"> 目標や課題を把握できていない児童が数名いる。 自分の興味や関心のある話題だけ、意欲的に参加している。

本学級の児童は、これまでに「地域の魅力発見，発信」「地域のお店に職場体験」「地域の高齢者との交流会」など地域，キャリア，福祉などをテーマにした課題に取り組んできている。昨年度は、地域ならではの魅力（寺社仏閣，景観，食べ物など）を探し，まとめたものを他市町の小学生に発信・交流していくことを通して，地域ならではの魅力のよさに改めて気付くことができた。一方で，地域の文化や，それらに関する地域の方たちの思いや願いについて着目できていないという課題が残った。また，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んだり，関わりを通して自分の考えを深めたり，広げたりすることに課題がみられた。さらに，本中学校区で特に，育成を目指す資質・能力である主体性・協働性について，それらを発揮した具体の姿を児童自身が実感したり，振り返ったりすることができていない現状がある。

(3) 指導観

児童観で述べた課題を解決するために，次の3点の指導の工夫を取り入れる。

1点目は，課題設定において，学習活動の見通しや学習のゴールまでに至る道筋を，児童と共有し，学習の計画を立てることである。学習計画を立てることで，児童の動機付けを図ったり，見通しをもたせたりする。

2点目は，探究のプロセスごとに，主体性・協働性が発揮される場面を設定することである。発揮される場面を意図的に設定することで，主体性・協働性が発揮された姿に，児童自身が気付くようにする。

3点目は，児童自らが，育成を目指す資質・能力が身に付いているかどうかを自覚するために，言語化した振り返りを行うことである。育成を目指す資質・能力に着目させ，繰り返し振り返り活動を行うことで，主体性・協働性に意識を向けさせる。

小単元1では、単元の導入において、毎年参加するみなと祭りで踊るええじゃん SANSA・がりの目的について想起させる。その目的を達成するための学習計画を児童に立たせ、単元のゴールとそれの見通しをもたせる。また、単元終了時の自分の具体的な姿を想起させ、その姿になるために必要な資質・能力を設定する。そして、達成を目指す姿（B基準）を教師と児童とで設定し、ループリックを作成する。

小単元2の課題設定では、「ええじゃん（みなと祭り）」に関する知識の実態を自分たちで振り返った後、歴史や背景、目的、携わってきた人たちの思いや願いなどを知らないまま、参加していたことに気付かせる。

情報収集では、祭りに参加している地域の人たちも多くいるが、自分たちと同じで歴史や人々の思いや願い、祭りの目的などを知らない人たちもいるのではないかとすることに気付かせる。

整理・分析では、情報収集で得た気付きから、対象をまず、一緒にみなと祭りに参加する3・4年生に定めて、収集した情報をプレゼンテーションソフトにまとめ、準備を進めさせる。

まとめ・創造・表現では、「第1回決起集会」と称して学習の成果を報告し、「ええじゃん（みなと祭り）」の理解と意欲を高め、小単元3へつなげていく。

小単元ごとの終末に、学習や活動を通して、自分の成長や変容を振り返り、次の学習に向けて、学習目標を見直し、設定する。

2 単元の見通し

地域の祭りで表現する踊りを創作する活動を通して、地域が祭りを大切にしてきた背景やよさと祭りに携わる人たちの思いや願いを理解し、これからの地域との関わり方について考えるとともに、地域の一員として地域行事に参加したり、地域に貢献したりしようとするなど、地域社会と積極的に関わることができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現【課題観・解決力】	主体的に学習に取り組む態度
①地域の祭りには、それぞれに独自のよさがあることを知るとともに、地域の人たちの思いや願いが歴史とともに発展してきたことを理解している。 【郷土愛】 ②インタビューやアンケート調査など相手や場面に応じた方法で実施している。 ③地域の祭りに対する認識の高まりは、これからの地域との関わり方について探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。	①地域の祭りについて自分たちの知識が足りない分野から課題を設定するとともに、解決に必要な方法や手順を考え、見通しをもって学習の計画を立てている。 ②課題を解決するために必要な情報について収集方法を選択したり、複数の情報を種類ごとに分類したりしながら、蓄積している。 ③目的に合わせて収集した必要情報を比較したり、分類したりしながら、内容に合う方法や対象を明らかにし、決定している。 ④目的と相手を意識した表現にするために、工夫点を交流したり改善点	①学びの姿を振り返ることを通して、自分のよさに気付いたり、他者の考えを受け入れたりしながら、課題解決に取り組もうとしている。 ②課題解決に向けて自分から進んで取り組み、友だちと協力しながら自分たちの納得解を見出そうとしている。 【主体性・協働性】 ③地域の一員であることを自覚し、地域の行事に参加したり、地域のためにできることを考えたりして積極的に地域と関わろうとしている。

	をアドバイスしたりしている。	
--	----------------	--

4 単元の構成について

全 38 時間

小単元1「プロジェクトⅠ 目指す姿ってどんな姿なの？」（4時間）

小単元2「プロジェクトⅡ みなと祭りってどんな祭りなの？」（11時間）

小単元3「プロジェクトⅢ ええじんの踊りはどうやってつくるの？」（12時間）

小単元4「プロジェクトⅣ 地域の人たちにええじんの踊りを宣伝するにはどうすればいいの？」
（8時間）

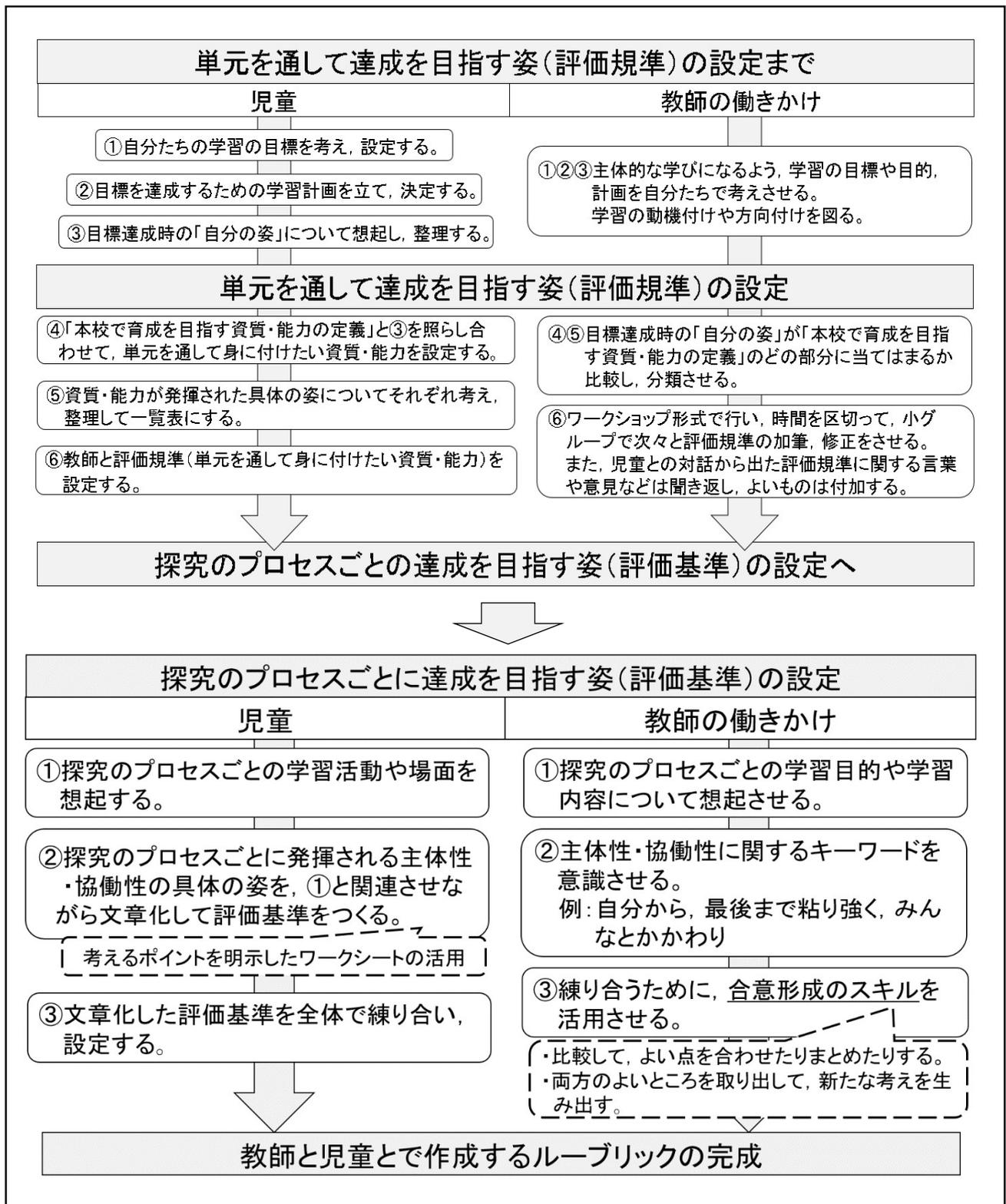
小単元5「プロジェクトⅤ 学習を通して学んだこと・考えたことは何だろう？」（3時間）

5 本単元で教師と児童とで作成するルーブリック枠

本単元では、主体性・協働性を発揮している姿を判断する基準を教師と児童とで設定する。作成を通して、教師、児童共に、主体性・協働性が発揮された姿を共有し、成長や変容を自覚するためのツールとして活用する。ルーブリックの枠と作成の手順を下に示す。

みんなで作るルーブリック！！～なりたい自分を目指して～		
資質・能力	自分から学ぼうとする態度・共にかかわり新たな考えをつくろうとする態度【主体性・協働性】	
	自分から学ぼうとする態度【主体性】	共にかかわり新たな考えをつくろうとする態度【協働性】
（成）児童 小学校	【単元を通して達成を目指す姿】	【単元を通して達成を目指す姿】
	達成を目指す姿	達成を目指す姿
課題の設定		
情報の収集		
整理・分析		
まとめ・表現		

本単元におけるルーブリックは、探究のプロセスごとに、主体性・協働性に関する達成を目指す姿を設定する。達成を目指すべき姿をB基準として、教師と児童とで設定し、単元を通して、それ以上の姿が見られた場合はA、到達できなかった場合はCとする。



なお、本単元におけるルーブリック作成の手順の中に、教師と児童とで評価基準を検討する場面を取り入れる。また、情意領域に関する評価基準のレベルを段階別に分けると、児童がレベルに捉われ、児童の多様な姿を限定してしまう可能性があるため、全員に到達させたい評価基準(B基準)のみを設定する。

6 指導と評価の計画（17/38時間）※体育6時間，次年度3時間含む。

小単元名（時数）	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法	他教科との関連
1 プロジェクトⅠ めざす姿ってどんな姿なの？ (4)	課題の設定 ・みなと祭りでええじゃん（踊り）を披露する目的について考える。 ・「ええじゃん（みなと祭りプロジェクト）のおおまかな学習計画を立てる。【本時】 ・「ええじゃん（みなと祭り）プロジェクト」を通して，なりたい自分と身に付けたい資質・能力を設定する。 <u>ルーブリック作成①【評価規準の設定】</u> ・資質・能力の具体の姿を判断する規準を設定し，教師と児童とでルーブリックを作成する。			②	行動観察 振り返りシート	社会科 ①資料や必要な情報を比較し内容を捉える
2 プロジェクトⅡ みなと祭りってどんな祭りなの？（11）	課題の設定 ・自分たちで進めていくプロジェクト（単元）名を決める <u>ルーブリック作成②【評価基準の設定】</u> ・課題の設定における主体性・協働性が発揮された姿を設定する。 ・ええじゃん（みなと祭り）について知識の実態を明らかにし，疑問から課題を設定する。		①	②	振り返りシート 【自己評価①】 ルーブリック活用 【自己評価②】 【相互評価①】	理科 電流と磁石 ①情報と情報を比較したり，関係付けたりして，課題を見出す
	情報の収集 <u>ルーブリック作成③【評価基準の設定】</u> ・情報の収集における主体性・協働性が発揮された姿を設定する。 ・個人で課題を解決するための情報を収集する。（冬季休業中） ・解決できなかった課題を解決するための収集方法や内容について考え，学習の計画を立てる。		②	②	行動観察 振り返りシート 振り返りシート 【自己評価③】 ルーブリック活用 【自己評価④】 【相互評価②】	国語科 新聞記事を読み比べよう ①情報との関係付け ②情報を読み取る

	<ul style="list-style-type: none"> ・ええじゃん(みなと祭り)について携わる方たちの思いや地域の方, 経験者の願いなどをインタビューしたり, 実地調査したりする。 	②				
	<p>整理・分析</p> <p>ルーブリック作成④【評価基準の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理・分析における主体性・協働性が発揮された姿を設定する。 ・分類した情報の内容を整理する。 ・第1回決起集会に向けて, 収集した情報の何をどのような方法で伝えるのか考える。 	①	③		振り返りシート 【自己評価⑤】	
	<p>まとめ・表現・創造</p> <p>ルーブリック作成⑤【評価基準の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめ・表現における主体性・協働性が発揮された姿を設定する。 ・第1回決起集会で発表するための準備に取り組む。 ・第1回決起集会で発表する内容が対象に合う表現になっているか, お互いに見合う。 ・第1回決起集会で「みなと祭りが始まった背景や携わる人たちの願い」をまとめ, (3・4年生) に発表する。 		④		行動観察 振り返りシート 【自己評価⑦】	国語科 環境問題を報告しよう ①図・グラフを用いて, 考えを工夫して伝える
	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成を目指す姿(資質・能力の獲得)状況について分析し, 振り返る。 	③		①	振り返りシート 【自己評価⑨】 【他者評価】	学級活動 ①努力の成果や過程について振り返る
3 プロジェクトⅢ ええじゃんの踊りはどうやってつくるの? (12)	<p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーやみなと祭りに携わる方から, みなと祭りやええじゃんの現状や今後の展望について聞く。 	②			振り返りシート	国語科 知りたいことを聞き出そう ①情報と情報の関係付けの仕方 ②内容を整理しまとめる
	<p>自分たちの思いやインタビューした方たちの願いや思いが合った踊りをつくるためには, どうすればよいだろうか。</p>					

	課題の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・踊りを通して、どのようなテーマで何を伝えたいのか明確にし、学習課題を設定する。 ・踊りを創作するための学習計画を立てる。 		①	振り取りシート	道徳科 美しい夢—ゆめびりカー ①地域の発展のために尽くす人々の存在と伝統文化を大切にしようとする心情	
	情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・みなと祭りで表現する踊りを、①かけ声②振り付け③衣装などのグループに分かれて過去の踊りを視聴し、どのような表現の工夫を行っているか、情報を収集する。 		②	②	ルーブリック活用 【自己評価⑩】 【相互評価⑤】	
	整理・分析 <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、収集した情報について交流し、必要な情報を取捨選択する。 ・グループごとに、踊りのテーマに沿った①、②、③に関する表現の工夫を考え、まとめる。 ・意見交流会を開き、ゲストティーチャーから評価やアドバイスをもらい、再度、踊りの案をグループで改善する。 	①	③	②	振り取りシート 【自己評価⑪】 ルーブリック活用 【自己評価⑫】 【相互評価⑦】	
	まとめ・表現・創造 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの各グループで改善した①かけ声②振り付け③衣装などをまとめ、踊り（案）に仕上げる。 ・講師に踊り（案）を提案し、最終調整を依頼する。 		④		ルーブリック活用 【自己評価⑫】 【相互評価⑦】	
	振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・達成を目指す姿（資質・能力の獲得）状況について分析し、振り返る。 	③		①	振り返りシート 【自己評価⑬】 【他者評価】	学級活動 ①努力の成果や過程について振り返る
4 プロジェクトⅣ 地域の人たちにええじゃんの踊りを宣伝するにはどうすればいい	課題の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・踊りの練習に向けて、練習日程や運営について学習の計画を立てる。 <p>実行するための時間、日程、準備物などについて、誰に相談し、どのように連携をとればよいか。</p>		①		振り返りシート 【自己評価⑭】	学級活動 6年生を送る会を計画・準備しよう ①目標を達成するための計画や準備をする

いの？ (8)						
	整理・分析 ・必要物や費用などを講師や担任に相談し、決定する。		③		ルーブリック活用 【自己評価⑮】 【相互評価⑧】	
	まとめ・表現・創造 ・実行に向けて、3・4年生と共に練習する。(体育科：6時間)			②	振り返りシート 【自己評価⑯】	体育科 表現運動 ①目標達成するための役割分担、計画、実行
	課題の設定 ・自分たちの踊りをたくさんの人に伝える方法について考え、学習課題を設定する。	③		①		学級活動 6年生を送る会を振り返ろう ①活動の成果や過程について振り返り、評価する
	地域の方や地域を出た方たちに、家や祭りの会場で自分たちやみんなの思いを自分たちの踊りを通して届けるには、どのように宣伝すればよieldろうか。					
	情報の収集 ・宣伝についてどのような方法があるか情報を収集する。			②	ルーブリック活用 【自己評価⑰】 【相互評価⑩】	
	整理・分析 ・宣伝方法について取捨選択し、自分たちで決定する。		③	②	ルーブリック活用 【自己評価⑱】 【相互評価⑪】	
	まとめ・表現・創造 ・宣伝の実行に向けて、準備をする。	①	④	③	振り返りシート 【自己評価⑲】 【他者評価】	
次年度(4月) ・自分たちの踊りを宣伝する。 ・みなと祭りに参加し、踊りを披露する。						
6 プロジェクトV ええじゃんを通して学んだことは何だろう？ (3)	振り返り ・これまでの活動を通して、自分が設定した目標を達成できたかを振り返り、今後の地域との関わり方や自己の生き方について考える。 ・学習を通して、ゲストティーチャーや学習を進めるために関わった方たちへ感謝を伝える方法を考え、実践する。	③		③	振り返りシート 【自己評価⑳】 【他者評価】	

7 本時について

(1) 本時の目標

学習計画の作成に自分から進んで取り組み、友だちと協力しながら自分たちの納得解を見出そうとする。【主②】

(2) 準備物

デジタル機器, パワーポイント資料

(3) 本時の学習過程 (2時/15)

段階	学習活動	教師の働きかけ 支援○ 評価☆ 方法【】
課題設定 (5分間)	<p>○前の時間を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ええじんの練習をしたい。 • ええじんの情報について知りたい。 • ええじんの疑問を解決したい。 <p>○本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ええじんの目的を達成するための学習計画を立てよう。</p> </div>	<p>○前時の振り返りから、学習課題を確認し、本時の見通しをもたせる。</p> <p>○目的を達成するためには何をしたいのか想起させる。</p> <p>○自分たちでプロジェクトを進めていくことを確認し、学習計画を意識させる。</p>
課題解決 (35分間)	<p>○ゴールに向かってどのような学習を進めていけばよいか見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ゴールの前に踊りの練習が必要だな。 • できたら僕たちの踊りを宣伝したいな。 • まず、前の学習で疑問が出たから、みなと祭りについて情報を集めないといけないよね。 <p>○グループで交流し、整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 伝統ってなんだろう、自分たちの思いってなんだろうなどは、課題の設定になるな。 • ええじんに向けての準備や練習をしないとイケないな。まとめ・表現になるのかな。 <p>○全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • まず、僕たち自身がみなと祭りやええじんについてもっと知るために、情報を収集することが始めるべきだと思う。 • ええじんやみなと祭りについての課題を設定しないとイケないよ。 • 次は、ええじんの踊りを考えることだと思う。去年の踊りを見直し、もっとバージョンアップしてみたいな。 • さらに、地域に元気や活気を届けるために、ほくたちの踊りを宣伝してみたい。 • 最後は、みんなと地域の方たちとみなと祭りを楽しんで、最高の祭りにしたい。 • 振り返りで、自分たちの成長を感じることができたらいいな。 <p>○まとめをする。</p>	<p>○ゴールをみなと祭り当日(ええじん披露)とし、今までの経験を想起させてから、学習の過程をイメージさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p> 学びのすべ 関係づける</p> <p>今までの総合的な学習の時間やええじんの経験など、学習や活動の過程を想起し、課題の解決につなげる。</p> </div> <p>○ジャムボードを活用して、目的を達成するために必要な学習活動を考えさせる。</p> <p>○グループごとに色を分けた短冊を黒板に貼るようにさせる。</p> <p>Aグループ・・・ピンク Bグループ・・・黄 Cグループ・・・青 Dグループ・・・黄緑 Eグループ・・・オレンジ</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p> 学びのすべ かかわる</p> <p>ゴールに向かうために、どのような段階を踏めばよいか、それぞれのグループの考えをもとにしながら自分たちの納得解を決める。</p> </div> <p>☆学習計画の作成に自分から進んで取り組み、友だちと協力しながら自分たちの納得解を見出そうとしている。</p>

振り返り（5分間）	ええじんの目的を達成するための学習計画を立てることができた。	【行動観察、発言】
	<p>○本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は、友だちとかかわって学習計画を設定し、ええじんがさらに楽しみになりました。はじめは、すぐに練習するのかなと思っていたけれど、いろいろなことを調べて考えた方がええじんの踊りがもっとよくなると思ったし、目的を達成できると思いました。次は、成長や思いについて調べたり考えたりしてみたいと思いました。 </div> <p>・次の時間学習で目指す具体的な姿が何なのか明らかにしていきたい。</p>	<p>○振り返りの視点を与え、簡潔に書かせる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①分かったこと ②友だちとの関わり ③自分のこと（ビフォーアフター） ④これからのこと（やってみたい） ⑤疑問 <p>○ええじんを通して、どんなリーダーになりたいのかイメージを膨らませる。</p>

8 板書計画

